

## 第9回 横浜市交通政策推進協議会 モビリティマネジメント推進部会 (MM部会) 報告 (7月21日)

①ヨーロッパモビリティウィーク中の9月24日(土)にMM部会主催でシンポジウムを開催します。詳細は同封のシンポジウムチラシをご覧ください。

②現在横浜市では計画改定部会を設置し、横浜都市交通計画の見直しをすすめています。横浜の公共交通活性化をめざす会の小田部事務局長が部会長として計画改定部会に出席しています。

横浜都市交通計画は都市交通課のサイトで見ることができます。

③今期、横浜市交通政策推進協議会へ出席する委員を決定しました。

鏑木委員(横浜交通まちづくり協議会)が継続、新たに渡邊委員(暮らしフォーラムにし)が選出されました。

④MM部会で提案した緑園都市でのピクトサイン掲出実証実験のアンケート結果の報告がありました。

(報告:松川由実)

## 野毛山動物園写真展



日本各地の路面電車の写真

市電の入口のドラえもんトラムの写真



第4回目になる野毛山動物園での写真展をゴールデンウィークの4月23日から5月22日まで開催しました。屋外は日本国内の路面電車の写真、市電内には横浜の風景にLRVの合成写真を中心に展示。市電の入口には富山県を走る万葉線のドラえもんトラムを大きく引き伸ばし展示しました。

(報告:松川由実)

## スペイン各都市におけるトラムの導入状況



バスク州ビルバオ市のトラム(撮影:2016年4月)

今回のLRTフォーラムでは標題の報告をしましたが、その概要をお伝えします。

スペインの路面電車は、日本と同時期の1960～70年代、ほとんどの都市で一旦廃止されましたが、90年代に入ると復活の動きが出はじめ、2007年以降に多くの

都市で復活または新規導入がなされました。現在は13都市で走っており、今後更に数都市の開業が見込まれています。

都市の規模や走行区間により、都市交通におけるトラムの位置づけ、役割が変わってきますが、このスペインでも次の三つに分類されます。

- ・大都市圏の郊外部を走行し、地下鉄線などのフィーダーとしての役割

<マドリッド、バルセロナなど>

- ・短距離ではあるが、都心部の回遊性向上のための役割

<セビリア、ビルバオなど>

- ・郊外の住宅地と都心部を結び、都市内における幹線軸としての役割

<サラゴサ、ビトリア・ガステイス、バレンシアなど>

LRT導入にあたっては、どの役割を担うのかを明確にすることが肝要です。

(報告:小田部明人)